

# 大網白里町財政事情

この「財政事情」は、大網白里町財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和29年12月1日条例第29条）の規定により公表するものです。

町では、皆さんからお預かりした税金や、国・県からの支出金、町債など（歳入）が、どのように使われたか（歳出）を知っていただくため、町の財政状況を公表しています。今回は、『財政特集』として、平成16年度決算概要と平成17年度上半期（4～9月）の予算の執行状況をお知らせするとともに、町のバランスシートを併せて公表します。

## 平成16年度一般会計決算状況

平成16年度の決算額は、予算現額131億2,072万1千円のところ、歳入132億5,084万5千円、歳出124億8,871万4千円で、前年度と比較すると歳入は6.6%の増加、歳出は6.3%の増加となりました。ただし、平成16年度においては減税補てん債の借り換えを7億8,760万円分行っており、その影響を除くと実質的には歳入は0.3%の増加、歳出は0.4%の減少となります。なお、本紙の表やグラフは、より実情を反映させるため、減税補てん債借り換えの影響を控除した数字を掲載しています。

収支の状況は、歳入歳出差引額7億6,213万1千円から、事業の繰り越しに伴い翌年度へ繰り越すべき財源3億8,531万円を差し引いた実質収支は3億7,682万1千円となりましたが、財政調整基金を5億1,796万5千円取り崩したため、実質単年度収支は5億4,696万9千円の赤字となりました。歳入・歳出総額はともに前年度とほぼ同額でしたが、その内訳は変化しています。歳入面においては、町税、地方交付税が減少し、町債が増加しました。一方、歳出面においては、目的別では土木費が減少し、教育費が体育館建設により、民生費が児童手当の改正等によりそれぞれ増加、性質別では人件費、物件費、普通建設事業費が減少し、扶助費、補助費、繰出金が増加しました。

# 財政特集

平成17年11月1日発行  
 発行者：大網白里町長  
 問合せ先：財政課財政係  
 ☎（70）0310

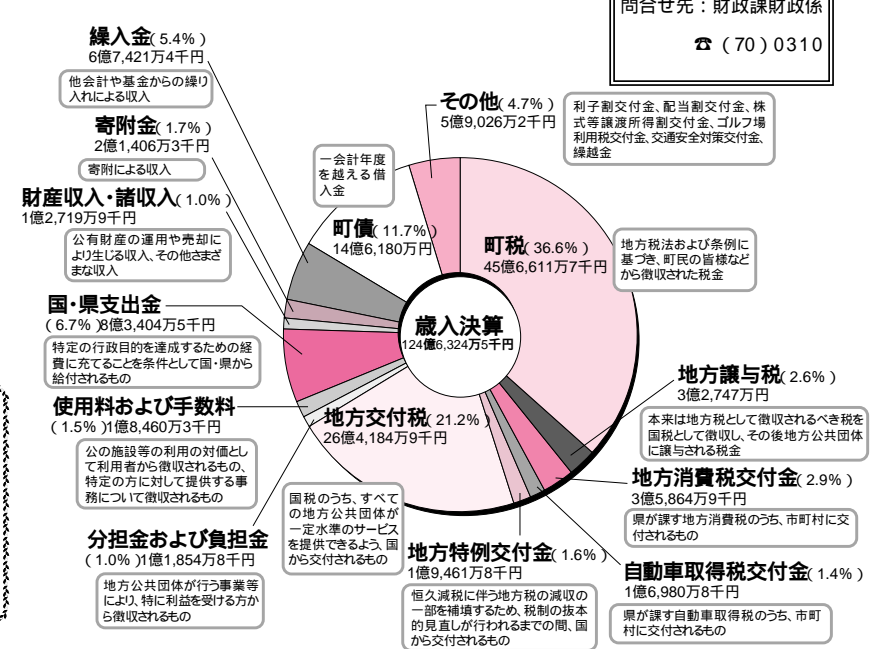
## 【決算収支】

(単位：千円)

区 分	16年度	15年度
歳入総額 A	12,463,245	12,427,403
歳出総額 B	11,701,114	11,746,062
歳入歳出差引 C	762,131	681,341
翌年度へ繰り越すべき財源 D	385,310	274,860
実質収支 C - D	376,821	406,481
単年度収支 F	29,660	79,848
積立金 G	656	273
繰上償還金 H	0	0
積立金取り崩し額 I	517,965	547,180
実質単年度収支 F + G + H - I	546,969	467,059

- ・ 翌年度へ繰り越すべき財源... 翌年度に繰り越すこととなった事業の既収入財源
- ・ 実質収支... 当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額
- ・ 単年度収支... 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
- ・ 実質単年度収支... 単年度収支に実質的な黒字要素（積立金、繰上償還金）を加え、赤字要素（積立金〔財政調整基金〕取り崩し額）を差し引いた額

## 【歳入決算】 1年間のすべての収入



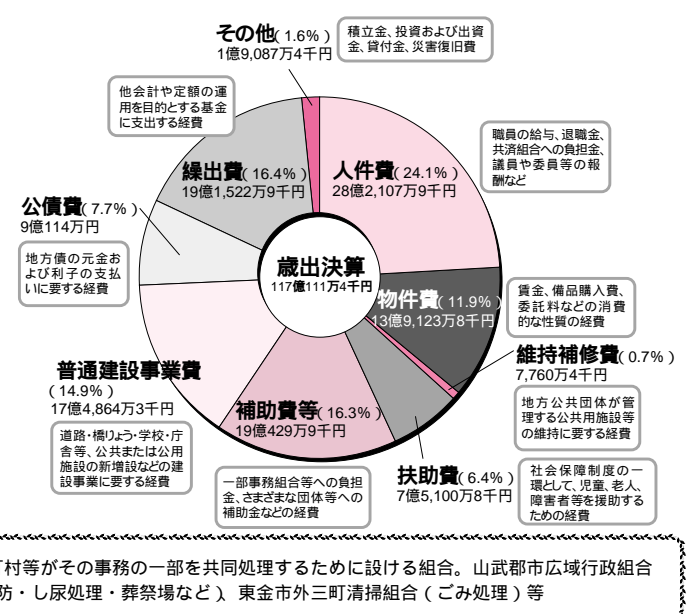
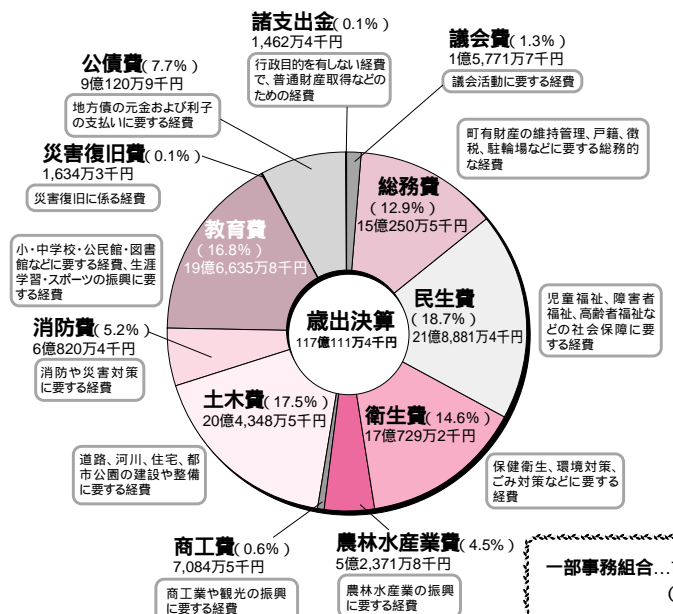
## 【歳出決算】 1年間のすべての支出

### 目的別歳出

目的別歳出とは、土木費、消防費というように歳出を行政目的によって区分したものです。

### 性質別歳出

性質別歳出とは、人件費、物件費というように歳出を経費の経済的性質によって横断的に区分したものです。



一部事務組合... 市町村等がその事務の一部を共同処理するために設ける組合。山武郡市広域行政組合（消防・し尿処理・葬祭場など）、東金市外三町清掃組合（ごみ処理）等

## 地方債現在高（平成17年3月31日現在）

区 分	地方債残高(千円)	1世帯当たり(円)	1人当たり(円)
一 般 会 計			
総務費	63,152	3,544	1,266
民生費	330,435	18,543	6,625
衛生費	1,279,413	71,796	25,651
農林水産業費	444,576	24,948	8,913
土木費	679,047	38,106	13,614
消防費	194,440	10,911	3,898
教育費	2,841,623	159,463	56,972
災害復旧費	0	0	0
その他	3,736,821	209,698	74,919
小 計	9,569,507	537,009	191,858
公共下水道事業会計	8,603,675	482,810	172,495
農業集落排水事業会計	1,617,712	90,781	32,433
土地区画整理事業会計	4,900	275	98
ガス会計	376,565	21,131	7,550
病院会計	1,881,216	105,568	37,716
合 計	22,053,575	1,237,574	442,150

人口・世帯数は、平成16年度末の住民基本台帳人口および住民基本台帳人口に基づく世帯数（49,878人、17,820世帯数）です

## 町有財産の状況（平成17年3月31日現在）

区 分	積立金(千円)	1世帯当たり(円)	1人当たり(円)
1 基金	5,467,048	306,793	109,608
財政調整基金	1,687,868	94,717	33,839
減価基金	1,055,381	59,225	21,159
公共施設整備改修基金	333,967	18,741	6,696
消防施設整備基金	2,023	114	41
ふるさと基金	271,832	15,254	5,450
社会福祉基金	331,573	18,607	6,648
庁舎等建設基金	1,038,813	58,295	20,827
奨学基金	4,597	258	92
スポーツ振興基金	30,271	1,699	607
国保財政調整基金	134,376	7,541	2,694
土地開発基金	503,833	28,273	10,101
介護給付費準備基金	72,509	4,069	1,454
2 有価証券および出資による権利	2,062,669千円		
3 土地および建物	1,741,714㎡		
4 車両	総台数 122台		

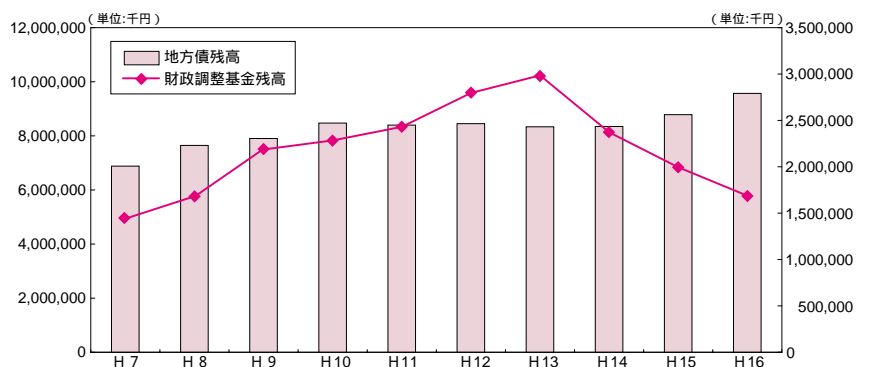
人口・世帯数は、平成16年度末の住民基本台帳人口および住民基本台帳人口に基づく世帯数（49,878人、17,820世帯数）です

## 地方債残高（一般会計）と財政調整基金残高の推移

過去10年間の地方債（一般会計のみ）と財政調整基金の残高の推移を表と図で示したものです。平成13年度の交付税制度見直しに伴う交付税振替債としての臨時財政対策債の発行等により地方債残高が増加している一方、財政調整基金残高は財源不足を補うための取り崩しにより平成13年度をピークに急激に減少しています。平成16年度末では、財政調整基金残高がほぼ10年前の水準まで後退しているのに対し、地方債残高は10年前と比べ約40%増加しています。

(単位:千円)

年 度	地方債残高 (一般会計)	財政調整基金残高
平成7年度	6,880,822	1,447,849
平成8年度	7,646,294	1,687,443
平成9年度	7,902,207	2,195,549
平成10年度	8,471,805	2,284,099
平成11年度	8,397,939	2,430,746
平成12年度	8,450,619	2,795,622
平成13年度	8,334,362	2,985,309
平成14年度	8,346,434	2,372,084
平成15年度	8,784,012	1,995,177
平成16年度	9,569,507	1,687,868

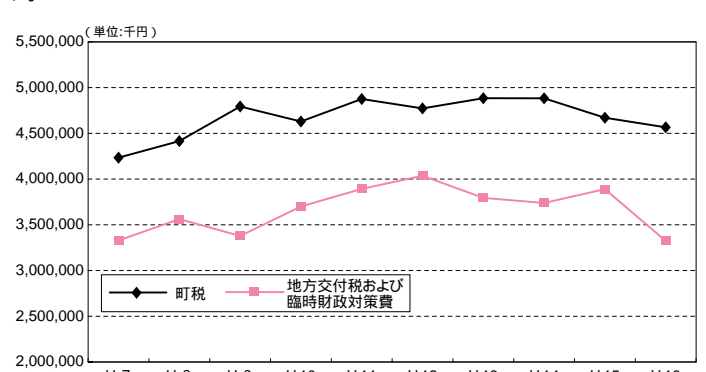


## 町税と地方交付税（臨時財政対策債含む）の推移

過去10年間の町税と地方交付税および臨時財政対策債の推移を表と図で示したものです。本来この2つは相互補完的な役割があり、例えば税収入が減少した年には交付税額が増えることとなります。しかし、近年はいわゆる『三位一体改革』などにより、不況で税収が減少しているにもかかわらず、交付税額はそれ以上の割合で減らされています。

(単位:千円)

年 度	町 税	地方交付税および 臨時財政対策債 (うち臨時財政対策債)
平成7年度	4,234,122	3,328,463
平成8年度	4,415,313	3,563,021
平成9年度	4,793,411	3,377,790
平成10年度	4,629,705	3,700,488
平成11年度	4,875,593	3,892,552
平成12年度	4,772,685	4,036,351
平成13年度	4,884,157	3,794,216 (209,400)
平成14年度	4,883,119	3,738,607 (409,900)
平成15年度	4,670,586	3,889,983 (940,000)
平成16年度	4,566,117	3,323,649 (681,800)



## 町民1人・1世帯当たりの町税負担と支出額の状況

ここでは、町民1人・1世帯に、年間での程度のご負担をいただいているかを表で示しています。なお、人口、世帯数は当該年度末の住民基本台帳人口および住民基本台帳に基づく世帯数（49,878人、17,820世帯）です。また、支出額は減税補てん債借り換えの影響を除いた額で計算しています。

町民1人当たりの負担額

町 民 税	41,500円
固定資産税	44,144円
軽自動車税	1,107円
町たばこ税	4,731円
鉱 産 税	64円
合 計	91,546円

1世帯当たりの負担額

町 民 税	116,158円
固定資産税	123,559円
軽自動車税	3,098円
町たばこ税	13,243円
鉱 産 税	178円
合 計	256,236円

### 町民1人当たりの支出額

議 会 費	3,173円
総 務 費	30,228円
民 生 費	44,036円
衛 生 費	34,349円
農林水産業費	10,537円
商 工 費	1,425円
土 木 費	41,112円
消 防 費	12,236円
教 育 費	39,561円
災 害 復 旧 費	329円
公 債 費	18,131円
諸 支 出 金	294円
合 計	235,411円

### 1世帯当たりの支出額

議 会 費	9,004円
総 務 費	85,774円
民 生 費	124,954円
衛 生 費	97,465円
農林水産業費	29,898円
商 工 費	4,044円
土 木 費	116,657円
消 防 費	34,721円
教 育 費	112,254円
災 害 復 旧 費	933円
公 債 費	51,447円
諸 支 出 金	835円
合 計	667,986円

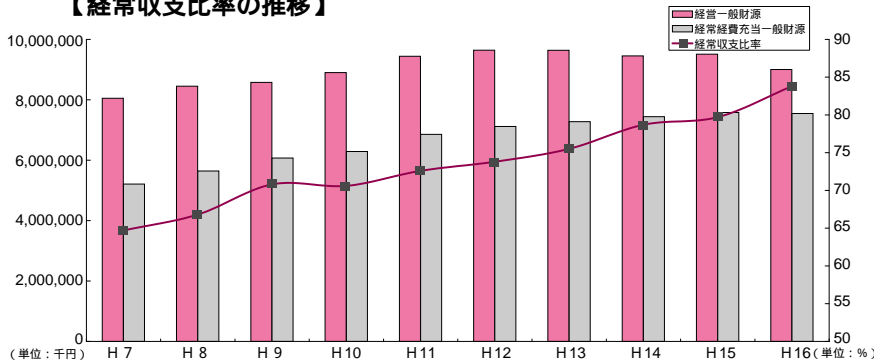
## 平成16年度普通会計決算状況

普通会計とは、一般会計といくつかの特別会計を合算して1つの会計としてまとめたものをいいます。地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なっており、財政比較や統一的な把握が困難なため、財政統計上、統一的に用いられるものです。なお、本町においては、一般会計、救護施設事業特別会計、土地取得事業特別会計、土地区画整理事業特別会計を合算したものを普通会計とし、決算額は合算した会計間の重複を控除し、年度間のずれ等を調整した単年度の純決算額となっています。

### 【決算収支】

区 分		(単位：千円)	
		16年度	15年度
歳入総額	A	12,683,436	12,632,501
歳出総額	B	11,904,588	11,945,495
歳入歳出差引 A - B	C	778,848	687,006
翌年度へ繰り越すべき財源	D	385,310	274,860
実質収支 C - D	E	393,538	412,146
半年度収支	F	18,608	77,614
積立金	G	656	273
繰上償還金	H	0	0
積立金取り崩し額	I	517,965	547,180
実質半年度収支 F + G + H - I		535,917	469,293

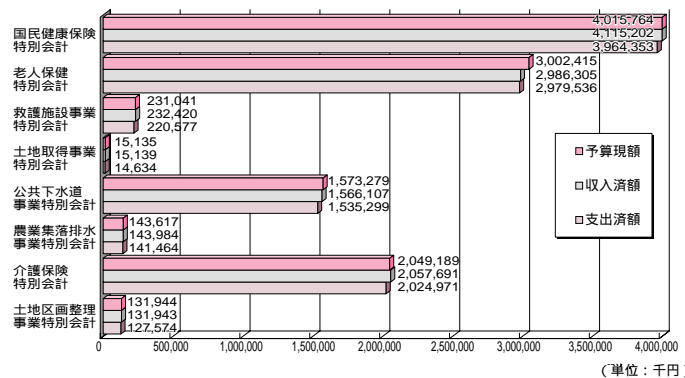
### 【経常収支比率の推移】



経常収支比率・・・人件費などの経常的な経費に、町税などの経常的な収入である一般財源がどのくらいの割合で充当されているかを表す。この比率が高くなるほど、財政運営が硬直化（道路整備などの投資的な経費に充てられる財源が少なくなる）していることを示す。

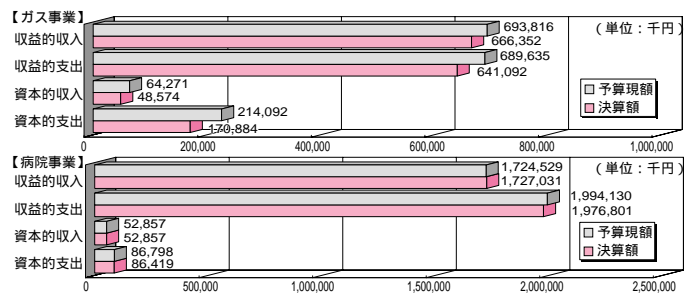
## 平成16年度特別会計決算状況

国民健康保険や公共下水道など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計とは別に設置するものです。



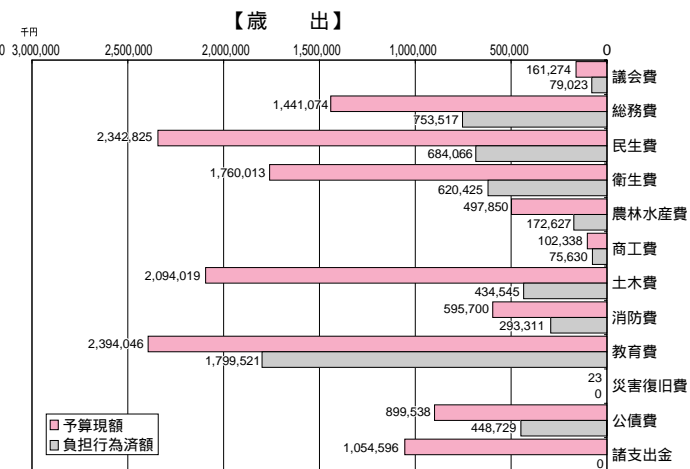
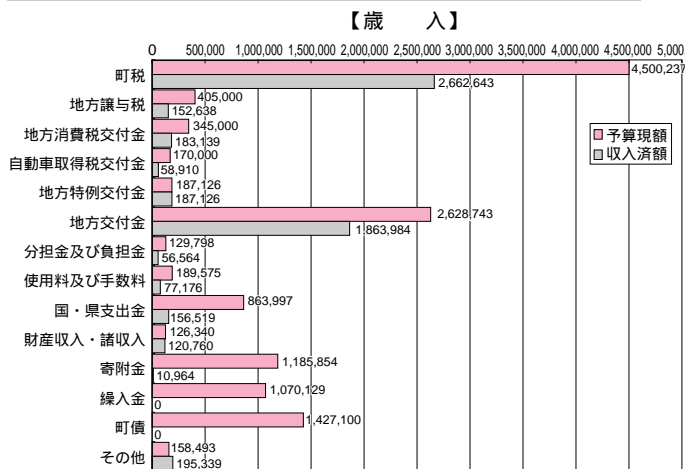
## 平成16年度企業会計決算状況

本町の企業会計には、ガス事業と病院事業があります。平成16年度の決算額は次のとおりです。収益的収支は経常的な収入と支出、資本的収支は、建物や備品にかかる収入と支出です。資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額については、内部留保資金等で補てんしました。



## 平成17年度上半期（4月～9月）の予算執行状況

平成17年度一般会計の当初予算は121億7,500万円でしたが、8月補正で1,653万2千円、9月補正で11億9,586万円を追加し、予算現額は133億8,739万2千円となりました。



### 平成17年度特別会計上半期（4月～9月）予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率	負担行為済額	負担行為率
国民健康保険	4,113,169	1,404,997	34.2	1,750,542	42.6
老人保健	2,976,064	1,228,960	41.3	1,286,850	43.2
救護施設事業	230,469	88,658	38.5	114,686	49.8
土地取得事業	1,054,697	505	0.0	0	0.0
公共下水道事業	1,309,752	183,884	14.0	652,182	49.8
農業集落排水事業	153,901	11,413	7.4	76,682	49.8
介護保険	2,157,419	847,969	39.3	863,458	40.0
土地区画整理事業	239,501	4,369	1.8	41,569	17.4

### 平成17年度企業会計上半期（4月～9月）予算執行状況

区 分	予算現額	収入済額 / 負担行為済額	率
ガス収益的収入	752,135	301,770	40.1
ガス収益的支出	745,948	222,815	29.9
ガス資本的収入	64,271	0	0
ガス資本的支出	146,246	21,869	15.0
病院収益的収入	1,691,410	591,431	35.0
病院収益的支出	1,691,410	872,492	51.6
病院資本的収入	45,370	0	0
病院資本的支出	141,460	40,654	28.7

(支出)負担行為... 経費の支払義務を発生させる行為。契約等。

# 大網白里町全体のバランスシート

(平成17年3月31日現在)

(単位：千円)

	普通会計A	公 営 事 業 会 計						国民健康保険特別会計	老人保健特別会計	介護保険特別会計	小 計 B	(合 計) A+B
		公共下水道事業会計	農業集落排水事業会計	ガス事業会計	病院事業会計	小 計						
<b>[資産の部]</b>												
1.有形固定資産												
(1)総務費	1,831,023											1,831,023
(2)民生費	1,372,724											1,372,724
(3)衛生費	2,469,305											2,469,305
(4)労働費	0											0
(5)農林水産業費	1,881,788											1,881,788
(6)商工費	125,517											125,517
(7)土木費	11,790,399											11,790,399
(8)消防費	351,159											351,159
(9)教育費	19,769,443											19,769,443
(10)その他	4,787	19,577,092	4,079,980	5,590,974	2,431,546	31,681,061	0	0	0	31,681,061	31,684,379	
合 計	39,596,145	19,577,092	4,079,980	5,590,974	2,431,546	31,681,061	0	0	0	31,681,061	71,275,737	
2.投資等												
(1)投資及び出資金	3,298,227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,298,227
(2)貸付金	93,340	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93,340
(3)基金	2,513,949	0	0	0	0	0	5,000	0	72,509	77,509	2,591,458	
(4)退職手当積立金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(5)その他	0	0	0	76,262	141	76,403	0	0	0	76,403	76,403	
合 計	5,905,516	0	0	76,262	141	76,403	5,000	0	72,509	153,912	6,059,428	
3.流動資産												
(1)現金・預金	3,522,095	30,808	2,519	279,649	450,241	763,217	285,224	6,768	32,719	1,087,928	4,610,023	
(2)未収金	1,059,486	56,384	15,059	51,693	202,564	325,700	922,972	0	15,161	1,263,833	2,323,319	
(3)その他	0	0	0	3,068	22,861	25,929	0	0	0	25,929	25,929	
合 計	4,581,581	87,192	17,578	336,361	675,666	1,116,797	1,208,196	6,768	47,880	2,379,641	6,961,222	
4.繰延勘定	0	0	0	0	77,787	77,787	0	0	0	77,787	77,787	
資 産 合 計	50,083,242	19,664,284	4,097,558	6,003,597	3,185,140	32,952,048	1,213,196	6,768	120,389	34,292,401	84,374,174	
<b>[負債の部]</b>												
1.固定負債												
(1)地方債	8,882,975	8,286,535	1,546,425	350,210	1,818,310	12,001,480	0	0	0	12,001,480	20,884,455	
(2)債務負担行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(3)引当金	1,280,484	58,993	6,940	42,895	323,492	432,320	27,761	3,470	24,291	487,842	1,768,326	
(うち 退職給与引当金)	1,280,484	58,993	6,940	41,642	322,724	430,299	27,761	3,470	24,291	485,821	1,766,305	
(うち その他の引当金)	0	0	0	1,253	768	2,021	0	0	0	2,021	2,021	
(4)他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(5)その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	10,163,459	8,345,528	1,553,365	393,105	2,141,802	12,433,800	27,761	3,470	24,291	12,489,322	22,652,781	
2.流動負債												
(1)地方債翌年度償還予定額	690,432	309,039	71,286	26,355	62,906	469,586	0	0	0	469,586	1,160,018	
(2)翌年度繰上充用額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(3)他会計借入金翌年度償還予定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4)その他	0	0	0	115,936	75,452	191,388	0	0	0	191,388	191,388	
合 計	690,432	309,039	71,286	142,291	138,358	660,974	0	0	0	660,974	1,351,406	
負 債 合 計	10,853,891	8,654,567	1,624,651	535,396	2,280,160	13,094,774	27,761	3,470	24,291	13,150,296	24,004,187	
<b>[正味資産の部]</b>												
正 味 資 産 合 計	39,229,351	11,009,717	2,472,907	5,468,201	904,980	19,857,274	1,185,435	3,298	96,098	21,142,105	60,369,987	
負 債 ・ 正 味 資 産 合 計	50,083,242	19,664,284	4,097,558	6,003,597	3,185,140	32,952,048	1,213,196	6,768	120,389	34,292,401	84,374,174	

**バランスシートって何？**

町では、昨年度より、広報紙やホームページでバランスシートの公表をはじめました。そして、今年度は対象範囲を普通会計から町の全会計に広げ、バランスシートを作成し、公表します。

しかし、情報量は増えたものの、数字と難しい用語が並びすぎて、バランスシートがいったい何をあらわしているのか、いまいちいち細かい方も多いはず。新人職員「あみ平君」もそんな印象をもっている者の一人です。

さて、いつものように、「あみ平君」が町のバランスシートをみつめ、なにやら難しい顔をしていまして、向こうから、頼れる先輩「さと子さん」がやってきました。

「さと子」 あみ平君、何でそんなに難しい顔をしているの？

「あみ平」 さと子先輩、バランスシートって何ですか？

「さと子」 うーん、簡単に言うとね、バランスシートっていうのは、町がどのようにお金を集めてきて、そのお金をどのように使ったのかをわかりやすく一覧表にしたもの。

「あみ平」 ふーん、でも数字と難しい用語ばかりが並んでいて僕にはさっぱりわかりませんよ。

「さと子」 そうね、では、あみ平君のために今日は特別講義を開講してあげるわ！

「あみ平」 よろしくお願ひします。

「さと子」 よし、早速、講義開始よ！まず、上のバランスシートを見て、よく見ると大きく「資産」・「負債」・「正味資産」の3つに分かれているのがわかると思うんだけど、わかっていた？

「あみ平」 あっ本当だ。

「さと子」 そのうちのひとつ、「資産」というのがね、町がどのようなものにくらあ金を使ったのか、つまり、町の「資金の使いみち」をあらわしているの。

「あみ平」 ええー。

「さと子」 資産を詳しく見ると、町が集めてきたお金を、土地を買ったり、建物や道路などをつくったりするために使ってきたのか(有形固定資産)、お金を貸したり、貯金をしたりするために使ってきたのか(投資等)、現金・預金などのまま持っているのか(流動資産)がわかるよ。もちろん、資産として残ったものは、住民の財産となるし、役場が行政サービスを提供するためにも必要不可欠なものになるの。

「あみ平」 そうか。じゃー、資産は多い方がいいですね！

「さと子」 うーん、でも、必ずしも資産が多いからといって、良いとは限らないわ。

「あみ平」 どうしてですか？

「さと子」 だって、資産を増やすためには、お金

が必要よね？では、そのお金どのように集めてくるの？

「あみ平」 ……

「さと子」 あみ平君だって、働いて給料をもらったり、銀行などから借金したりしないと、物を買ったりして財産を増やすことはできないわよね。それと同じ。町も税金を課したり、国や県から補助金をもらったり、銀行などから借金をしたりしてお金を集めて「ない」物を買ったり、つくったりして、資産を増やすことはできないのよ。

「あみ平」 そうか！

「さと子」 そこで、「資産」以外の「負債」と「正味資産」の登場よ。この2つが、資産を増やすために、町がどのようにお金を集めてきたのかを教えてください。つまり、町の「資金調達の内容」をあらわしているのよ。

「あみ平」 ふむふむ。

「さと子」 おおまかにいうとね、「負債」というのは、「負債」を増やすために、町が負った借金などの債務額をあらわすの。「負債」という債務の返済は将来にわたるから、あみ平君のような将来世代の負担によって、「負債」を増やしてきたともいえるわね。まあ、「負債」=将来の住民負担、っていうことね。

「あみ平」 将来の住民負担か…ひえー、大変だあ！

「さと子」 逆に「正味資産」は、「資産」を増やすために、既に住民などからもらった税金や国や県からもらった補助金などの額をあらわしているのよ。つまり、「正味資産」を見ると、今までの世代の負担によって、「資産」を増やしてきたことがわかるの。「正味資産」=今までの住民負担、っていうわけね。

「あみ平」 うーん、資産の裏には誰かの負担があるということですね。

「さと子」 そうよ。だから、資産が多いというだけでは、喜んではいけないのよ。町は、ただ、資産を増やしていけば良いのではなくて、今までの世代と将来世代の負担の公平性を考慮しながら、住民にとって本当に必要な資産を形成して、効率的な財政運営を行っていくなければならないの。最後はちょっと難しくなってしまうかしら。

「あみ平」 いえ、そんなことないですよ。ほら、さ、先輩のご教授のおかげで、このとおり目からうろこが！

「さと子」 本当にわかったのかしら…。

